

「紙」を見て「森」を想う。



土から生まれて土に還る〈CURETEX®〉は、
植物生まれの天然繊維 100%の「和紙」から作られます。

その原料は、東南アジアに自生している多年生植物。
刈り取っても3年程度で再生を繰り返すため、
森林破壊にはつながりません。

ところで、暮らしの中で日用品として使う
さまざまな紙製品はどうでしょう？

コピー用紙やノート、ティッシュペーパー、
紙袋や紙パックといった一般的な紙は、「洋紙」。
木質チップなどを溶かして繊維を抽出し(パルプ)、
乾燥して固めて作ります。

日本の製紙原料となる木質チップは約70%が輸入で、
ベトナムやオーストラリア、南米など
海外の森林資源に頼っています。

その中には、製紙用木材の植林のために
依然として森林破壊が行われている地域もあり、
「プラスチックと違って紙は地球にやさしい」
などと簡単に言い切れない現実が。

無自覚に紙を使って、知らず知らず、
森林破壊に加担してしまうのは
「ひとと地球にやさしい企業」を目指す
キュアテックスとして、本意ではありません。

私たちがサステナビリティの視点から
日々使う「紙」を見直し、選択したのは、
「FSC 認証」の製品を使うことでした。

「FSC 認証」って？

それは、進行する森林破壊を食い止めながら
経済活動に必要な木材をサステナブルな形で使うため、
適切な管理のガイドラインとして誕生した国際的な制度。

森を守りながら経済的な豊かさとの両立を目指す、
という考え方に基づいた「10の原則」に従って
認証を受けた森の木を、認証を受けたルートで加工した製品にのみ
「FSC マーク」がつけられます。

つまり、マークのついた製品を使うことで
森林資源を守ることにつながるのです。

キュアテックスでは、
名刺やリーフレット、段ボールなどを製作する際、
FSC 認証を取得している印刷会社に依頼。

またコピー用紙をはじめ、
ペーパータオルやトイレトペーパーなど
オフィスで日常的に使用する紙製品も
「FSC マーク」を確認して購入しています。

企業は、事業者であると同時に、
業務上必要な資材や備品、消耗品などを購入する
“消費者”としても大きな存在。

ビジネスを通して社会課題解決に貢献するだけでなく、
“消費者”として「環境や社会にいいものを選ぶ」のも
これからの時代、とても大切なことだと私たちは考えています。